

11 器具紛失時の脱出

ロープアクセス使用中に、もしアッセンダーや下降器を紛失（落下）してしまい回収ができない場合は代用品を用いてロープ上から脱出する。

1 ハンドアッセンダーを紛失した場合



① 予備コードの先端に大きめのダブルフィギュアエイトノットを作る。



② そのループでブルージックを作り、メインロープに接続する。



③ ハンドアッセンダーと同じく、ロングカウズテイルをブルージックに接続しておく。余った部分をフットループに充てる。ダブルフィギュアエイトノットで長さを決めて結束してもよい。



④ または、ブレイクスヒッチで調節できるようにしてもよい。



2 下降器を紛失した場合

ATCを携帯していればATCを用いる。(10章参照)
予備の下降器がない場合は以下の方法がある。

イタリアンヒッチで降りる



- メインロープにイタリアンヒッチを作り、ショートカウズテイルカラビナに接続する。
- 制動側ロープに補助スリングをブルージックで接続し、メインアタッチメントに接続する。
- ただし、下降後にロープに著しいキンクが付くことになり、大変扱いにくくなる。従って、できるだけ避ける方が良い。

ブレイクスヒッチで降りる



- メインロープをハーネスに接続したカラビナでロープを折り返して、肩がらみにする。
- この場合、肩が激しくロープと擦過するので、厚手の襟付き服を着用していることが条件。



- また、得られる制動が少ないので、制動に力が必要である。
- 制動側ロープを太腿に巻き付けるなどして、制動力を増加させることもできる。
- この場合、オートロック機能は、支点側ロープにブレイクスヒッチで接続する。
- 支点側ロープに接続したブルージックに体重が移ると、解除できなくなるので、ブレイクスヒッチを使用すること。

11
の脱出
器具紛失時

